

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2000-88862(P2000-88862A)

【公開日】平成12年3月31日(2000.3.31)

【出願番号】特願平10-259647

【国際特許分類第7版】

G 0 1 N 35/10

【F I】

G 0 1 N 35/06

A

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月13日(2005.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定位置に配置される容器から液体を吸引する液体吸引装置において、先端が銳利形成され液体を吸引することができる液体吸引管と、

液体吸引管を上下方向に移動させる駆動機構と、

液体吸引管に上向きの外力が作用したことを検知する外力検知手段と、

上記これら手段を制御する制御手段と、を備え、

制御手段は、駆動機構を駆動させて液体吸引管を容器に向けて移動させたときに、外力検知手段により外力が検知されなかった場合は密閉容器ではないと判定し、外力が検知された場合は密閉容器であると判定する機能を有することを特徴とする液体吸引装置。

【請求項2】 制御手段は、上記判定結果に基づき駆動機構の駆動方式を変えるよう制御することを特徴とする請求項1記載の液体吸引装置。

【請求項3】 外力検知手段は、液体吸引管先端に物体が衝突したことを検知するセンサを含むことを特徴とする請求項1又は2記載の液体吸引装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明の液体吸引装置は、所定位置に配置される容器から液体を吸引する液体吸引装置において、先端が銳利形成され液体を吸引することができる液体吸引管と、液体吸引管を上下方向に移動させる駆動機構と、液体吸引管に上向きの外力が作用したことを検知する外力検知手段と、上記これら手段を制御する制御手段と、を備え、制御手段は、駆動機構を駆動させて液体吸引管を容器に向けて移動させたときに、外力検知手段により外力が検知されなかった場合は密閉容器ではないと判定し、外力が検知された場合は密閉容器であると判定する容器識別機能を有することを特徴とする。